



「学ぶ土台づくり」便り

第5号



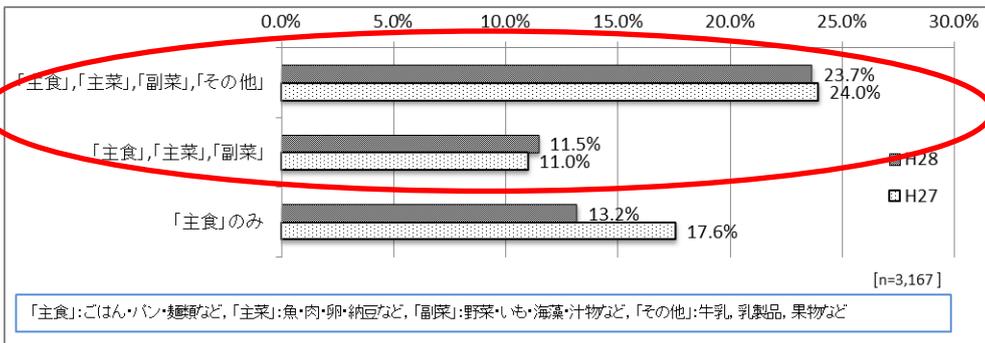
平成 28 年度幼児教育に関する実態調査（アンケート）から

県では、幼児教育の充実に向けて策定した第2期「学ぶ土台づくり」推進計画の目標の実現を目指し、様々な取組を行っています。

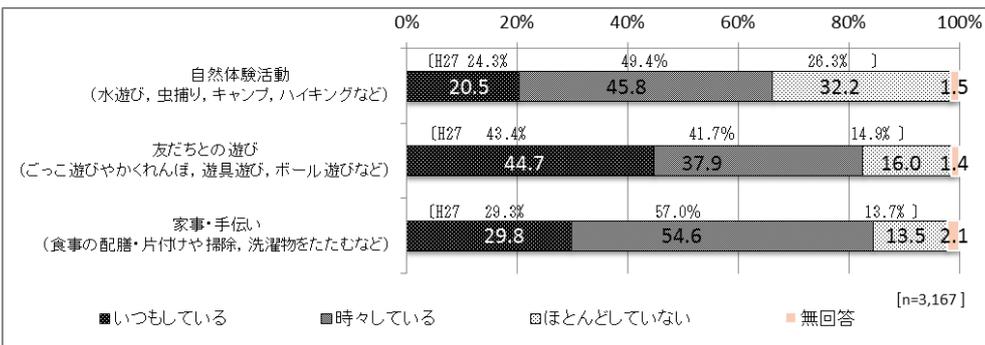
子供たちの成長にとってより良い環境をつくっていくため、毎年、計画に関連した内容について、幼稚園や保育所等の先生方と保護者の皆様にご協力いただき、実態調査（アンケート）を実施しています。

今年度の調査結果から2つの項目についてご紹介します。

★ 朝食の内容



★ 子供の体験活動



朝食を毎日食べている子供の割合は、今年度は92.5% (H27:96.3%) とほとんどの子供が食べていると言えますが、内容を見ると、バランスの良い食事をしているのは、35.2%にとどまっています。

「自然体験活動」「友だちとの遊び」を「ほとんどしていない」の回答が昨年度より増加しています。「家事・手伝い」については横ばいですが、「いつもしている」の目標値40%とは大きな差が見られます。

調査の結果を次年度以降の「学ぶ土台づくり」の取組に生かしていきたいと思えます。

(4,319人の先生方、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。)



担当より...

右の感想は、「学ぶ土台づくり」普及啓発事業の一つ、「高校生を対象とした親になるための教育推進事業」の実施報告集の中から抜粋したものです。報告集には、親への感謝の言葉や、命の大切さの気付き、子供と関わる大変さの中にある喜び等の感想がたくさん掲載されています。

日頃お疲れの先生方や保護者の皆様が少しでも癒やされるのではと思い、ご紹介しました。

お昼寝で子供を寝かしつけるのはとっても大変でしたが、子供の寝顔を見たら疲れが吹っ飛びました。

保育士の仕事は大変だなと思いましたが、とってもやりがいのある仕事だなと思いました。保育体験の感想より



母にもっと感謝して生きようと思った。誕生日は母を祝おう。尊敬します。

「親になること」の講座の後の感想より

